

令和4年度 講座実施報告書

1 概要

講座の名称	女性相談担当者支援研修（第2回）				
講座の目的	女性の相談は、家族や夫婦、子育て、貧困、そしてDVやデートDV、性被害、ストーカー、セクシャル・ハラスメント、モラルハラスメントなど、複雑多岐にわたっています。そこで相談者の気持ちをくみとり女性のエンパワーメントを支援できるように基礎的知識や技術の習得、相談の質の向上を図るため実施します。				
募集対象	県・市町村で女性相談に携わる行政職員、相談員等				
定員人数	32名	申込人数	26名	当日参加人数	25名
申込方法	ながの電子申請サービス				
託児	（募集なし）				
回数	1回				
開催場所	男女共同参画センター 第3研修室				
日時	10月7日（金） 13:30～16:30				
講師	高山 直子 さん （カウンセリング&サポートサービスNカウンセラー）				
開催内容	講義 「カウンセリングスキルの基本を被害者支援に活かす」 ～支援する側も支援される側もエンパワーされる支援とは～				
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・知識を得ることだけに今までやっきになっていたが、「意識」を持つことにより、リスクを減らし相談員自身がエンパワーメントされるという流れを知ることができた。最近とても疲れ切っていたがそこから抜け出せるよい機会になったと思う。 ・相談を受ける時に、アドバイスの仕方について、具体的に何が重要かということが分かりました。今まで迷っていたことが、具体化されたと思います。今後の業務にとっても参考になりました。 ・相談員になり半年経ちました。疲弊する日々が多々ありましたが、心強い助言をいただきました。とても参考になりまして肩の力が抜けました。 ・女性相談の業務について2年が経過しました。相談について、自分の立ち位置に不安を感じる事が出てきました。同時にDVの相談との主訴で“モラハラ”の訴えも多く…。本日は基本的な相談員の姿勢を学ぶことが出来、モラハラの理解もできました。 ・モラスハラスメントの相談件数が増えているためモヤモヤしていました。今回の研修で理解する事ができました。明日の相談に生かしていきたいです。 ・「相談者の力を信じる」ぜったいに忘れてはいけないと思いました。 				



高山講師



会場の様子